

ポリティカル・コレクトネスからどこへ

清水晶子 = ハン・トンヒョン = 飯野由里子

担当編集から ネットが生活に欠かせず、SNSの普及以降ますます表現や発信が手軽になった現代社会では「ポリティカル・コレクトネス」がたびたび話題にのぼります。この概念が生まれた背景やその素朴な当否についてもさることながら、これをテーマにすることで私たちは現実の諸問題についてどのように考えることができるのでしょうか。

本書は、人文社会系研究者の視点からこのテーマについて議論を交わし、それぞれの立場から見える社会像とその問題点について考えています。論点の一つは、包括的な差別禁止法がこの国にはない、ということ。ジェンダーとフェミニズム、セクシュアリティとクィア、障害と社会モデル、エスニシティと社会的な望ましさなど、私たちが生きる現代社会の不均衡を知り、そのうえで別のありかたを模索するためのアイデアが盛り込まれた1冊です。(四籟)

ポリティカル・コレクトネスからどこへ

清水晶子
ハン・トンヒョン
飯野由里子

誰もが手軽に表現する SNS 普及後の世界で、研究者の視点はどのように活かせるのがジェンダーとフェミニズム、セクシュアリティとクィア、障害と社会モデル、エスニシティと社会的な望ましさなど、私たちが生きる現代社会の不均衡を知り、別のあり方へ

有斐閣

-用途- -対象-

教養 一般

詳細を見る



2022年9月発売 / 266頁 / 定価1980円(税込)
四六判 / 並製

Point 鼎談章と執筆章を交互に読むことで、背景から核心まで理解を深めます。

- 序章 ポリティカル・コレクトネスをめぐる論点
- 第1章 クィア・ポリティクスとポリティカル・コレクトネス
- 第2章 「次善の策」としてのポリティカル・コレクトネス
- 第3章 バックラッシュ／キャンセルカルチャーと法整備の必要性

- 第4章 「思いやり」から権利保障へ
——ディサビリティをめぐる「正しい」見方
- 第5章 マジョリティ性をどのように考えられるか
- 第6章 「社会的な望ましさ」をめぐるコミュニケーションとしてのPC
——レイシズム・多文化主義とその周辺から考える
- 終章 「正しさ」や「望ましさ」についての議論を続ける

詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。

